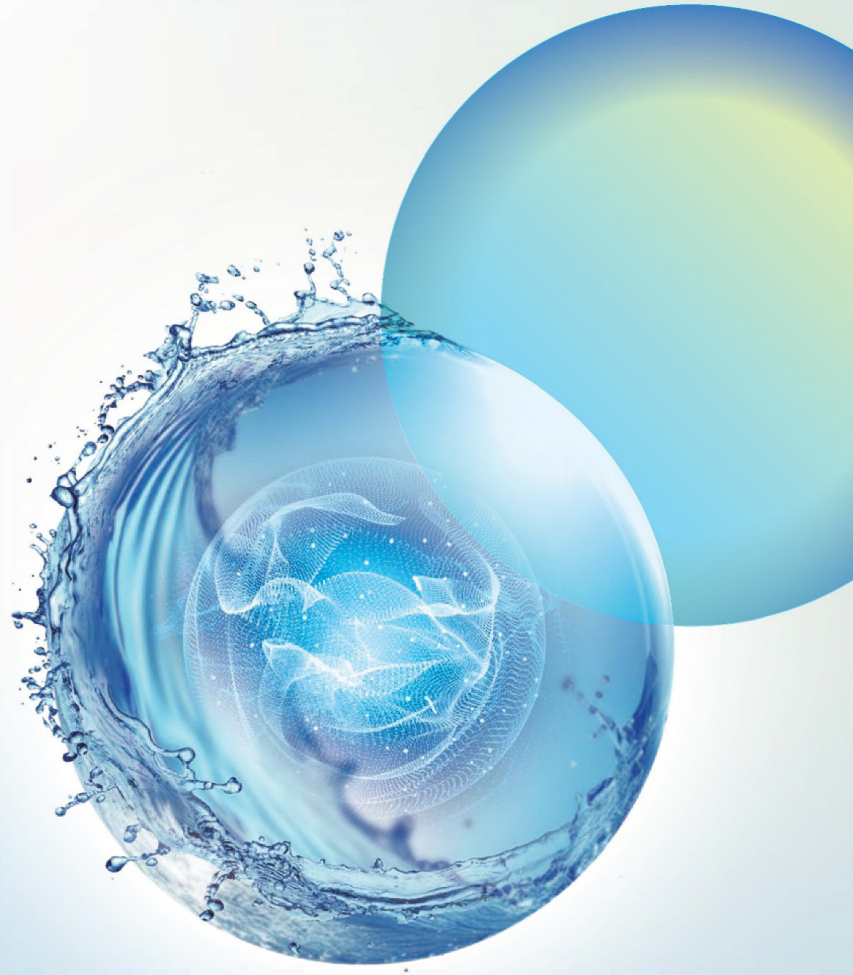
2026年3月期 第2四半期決算説明会

連結決算の概要　事業環境および業績予想



株式会社SCREENホールディングス

代表取締役 取締役社長（CEO）
後藤 正人

取締役副社長（CFO）
近藤 洋一

2025年10月31日

資料取り扱い上の注意

- 本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
  また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切り捨てで処理しております。比率は四捨五入しております。
- 本資料では、例えば、「FY2026/03」と示す場合、2025年4月1日～2026年3月31日の会計期間を表します。

FY2026/03Q2_20251031

SCREEN

Innovation for a Sustainable World

上期 連結決算の概要・業績予想

2026年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社SCREENホールディングス
取締役副社長（CFO）　近藤 洋一

2025年10月31日

FY2026/03 上期 連結業績の概要

売上高　　前年同期比

2,742 億円　　**-1.1** % （-31億円）

営業利益　　前年同期比

464 億円　　**-20.2** % （-117億円）

営業利益率　　前年同期比

16.9 %　　**-4.1** pt

前年同期比　減収減益

SPE：前年同期比　減収減益

一部案件の売上タイミングが下期へ

FT：前年同期比　大幅増収増益

ディスプレー市場堅調によりOLED向け装置売上増

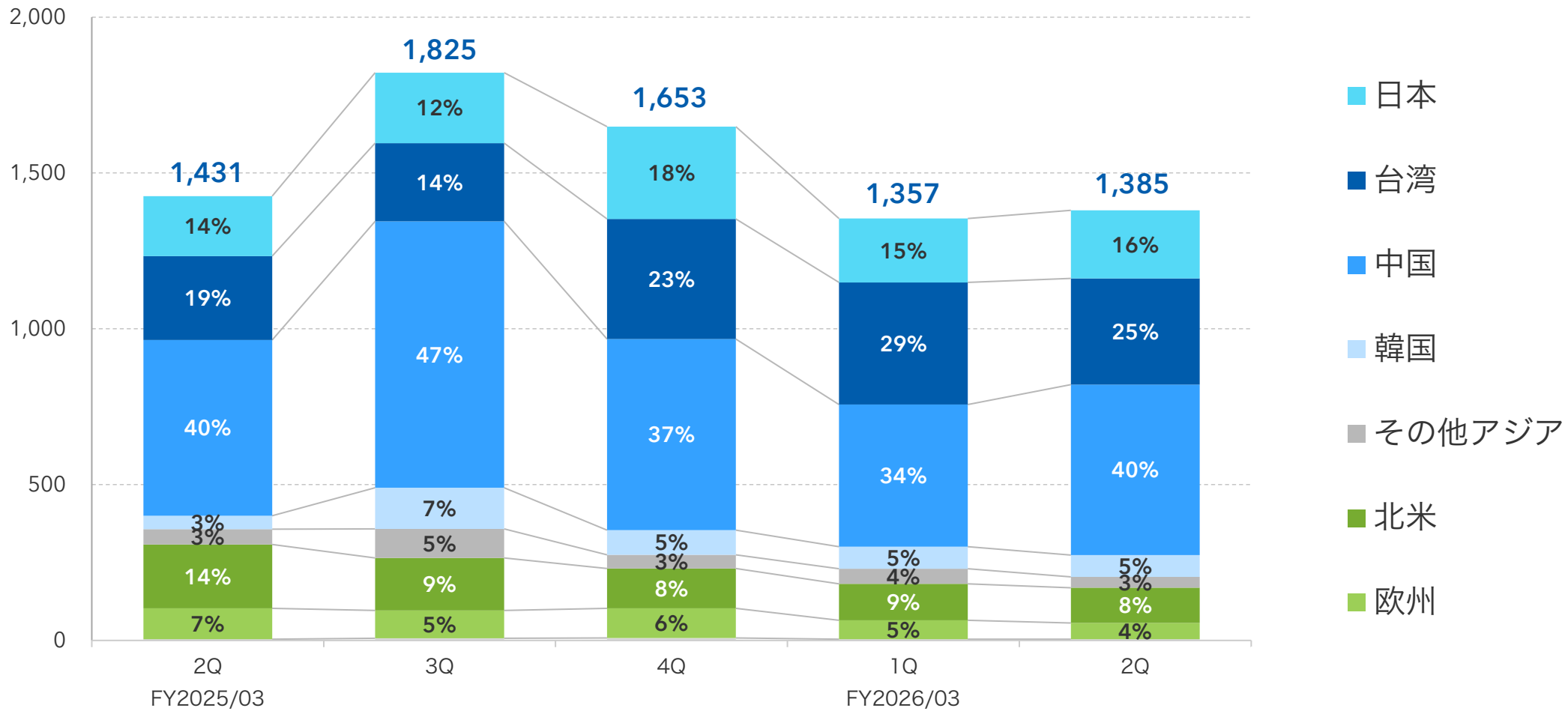
自己資本比率は64.4%に

FY2026/03 上期 連結業績

（億円）	FY2025/03 1Q	2Q	上期	3Q	4Q	通期	FY2026/03 1Q	2Q	上期	前年同期比（上期比較）	
売上高	1,342	1,431	2,773	1,825	1,653	6,252	1,357	**1,385**	**2,742**	**-31**	**-1.1%**
営業利益 営業利益率	277 20.7%	304 21.3%	582 21.0%	423 23.2%	350 21.2%	1,356 21.7%	243 18.0%	**220** **15.9%**	**464** **16.9%**	**-117**	**-20.2%** **-4.1pt**
経常利益	278	307	586	436	359	1,382	245	**222**	**468**	**-118**	**-20.1%**
親会社株主に帰属する当期純利益	182	206	388	306	299	994	166	**151**	**318**	**-69**	**-18.0%**

全社地域別売上高比率

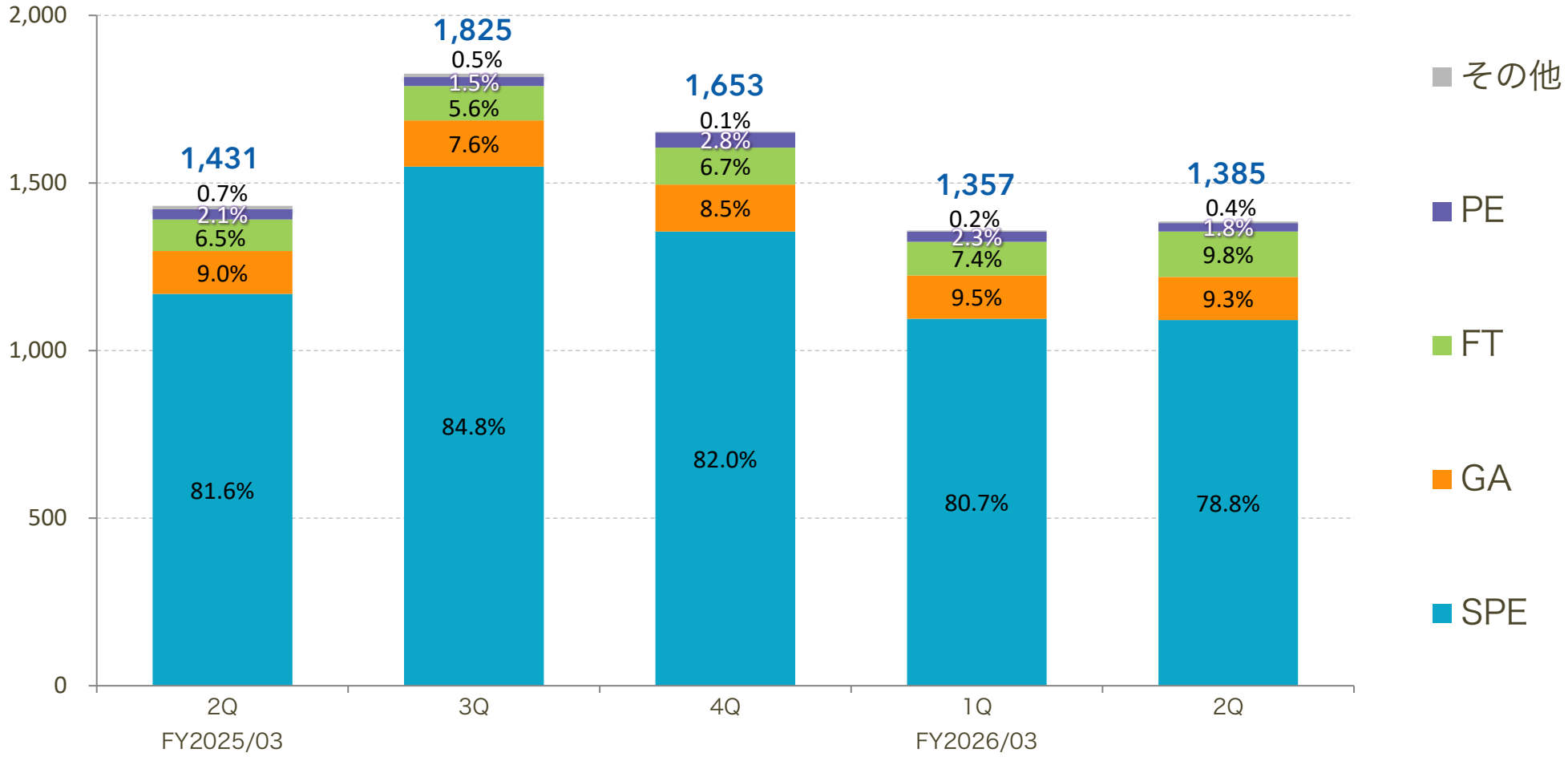
四半期 （億円）



注） 比率は小数点以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

セグメント別売上高比率

四半期 （億円）



注）比率は小数点第2位以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

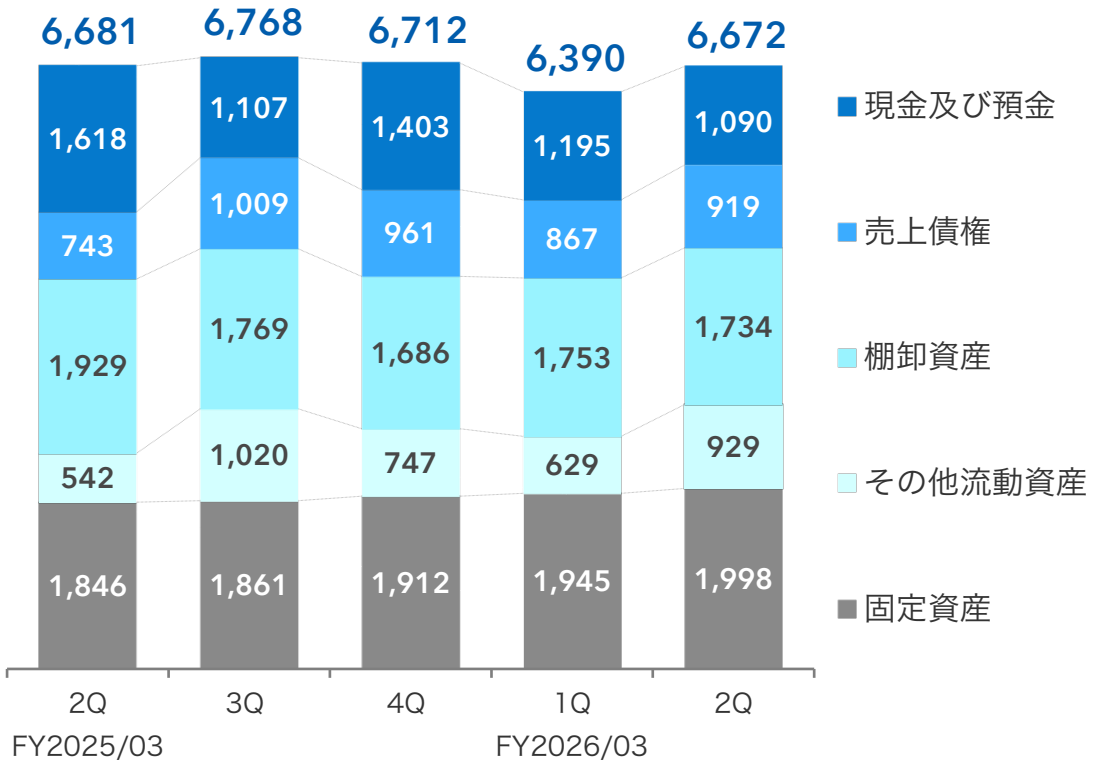
FY2026/03 上期 連結業績　セグメント別

		FY2025/03					FY2026/03					
（億円）		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	1Q	2Q	上期	前年同期比（上期比較）		
SPE	売上高	1,121	1,168	2,290	1,548	1,355	1,095	**1,090**	**2,185**	**-104**	**-4.6%**	・減収・減益 一部売上、下期へスライド DRAM、フラッシュ向けは増 中国比率減
	営業利益	290	299	590	419	360	256	**229**	**486**	**-103**	**-17.6%**	
	営業利益率	25.9%	25.6%	25.8%	27.1%	26.6%	23.5%	**21.0%**	**22.3%**		**-3.5pt**	
GA	売上高	123	128	252	137	139	129	**128**	**258**	**5**	**2.3%**	・増収・減益 売上増加するも米関税影響など で減益
	営業利益	8	12	20	12	10	5	**6**	**12**	**-8**	**-39.7%**	
	営業利益率	6.6%	9.4%	8.0%	9.2%	7.2%	4.4%	**5.1%**	**4.7%**		**-3.3pt**	
FT	売上高	52	93	145	102	110	99	**135**	**235**	**89**	**61.4%**	・増収・増益 OLED中心に売上増 営業利益率大きく改善
	営業利益	-2	3	0	12	16	10	**29**	**39**	**38**	**4,121.4%**	
	営業利益率	-5.0%	3.8%	0.6%	12.4%	15.4%	10.5%	**21.6%**	**16.9%**		**16.3pt**	
PE	売上高	39	30	69	26	45	30	**24**	**55**	**-14**	**-20.3%**	・減収・減益 下期以降の設備投資増に期待
	営業利益	5	1	6	-1	5	-0	**-1**	**-2**	**-9**	**-%**	
	営業利益率	12.8%	5.9%	9.8%	-4.3%	11.0%	-1.0%	**-8.0%**	**-4.1%**		**-13.9pt**	

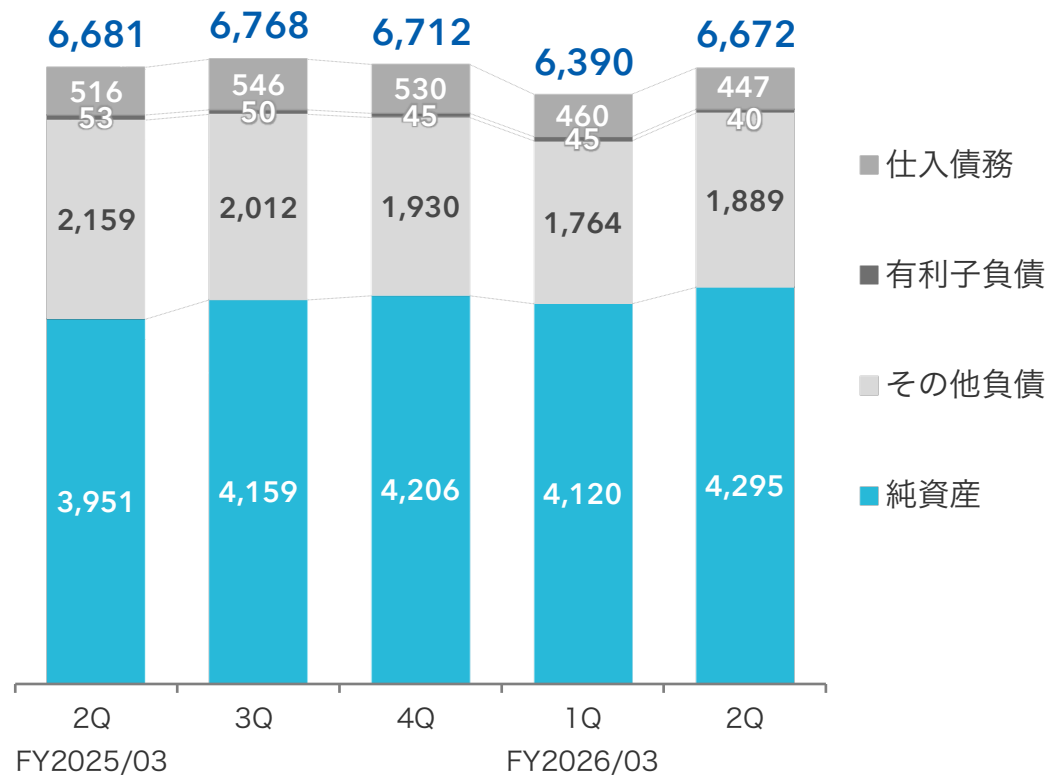
財務状況：連結貸借対照表

純資産は4,295億円に　自己資本比率は64.4%に

資産 （億円）



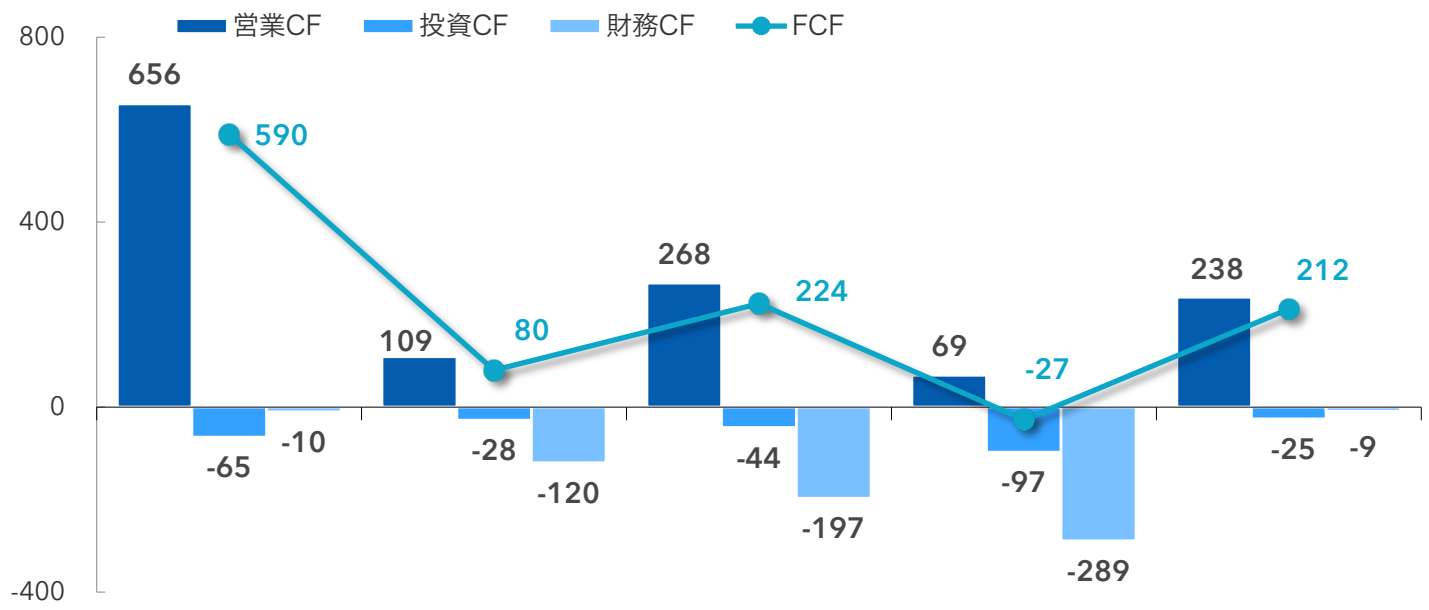
負債および純資産 （億円）



財務状況：連結キャッシュ・フロー

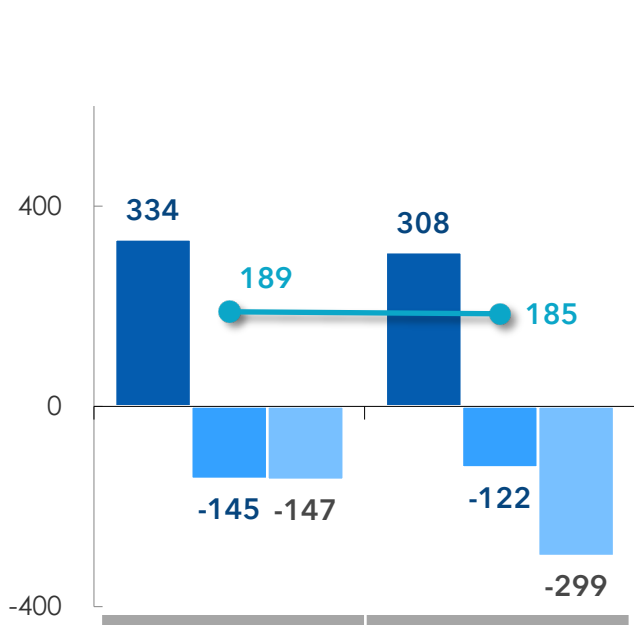
2Q営業CFは、利益の積み上げや契約負債（主に前受金）の増加などにより238億円に

四半期



（億円）	FY2025/03			FY2026/03	
	2Q	3Q	4Q	1Q	**2Q**
営業CF	656	109	268	69	**238**
投資CF	-65	-28	-44	-97	**-25**
FCF*	590	80	224	-27	**212**
財務CF	-10	-120	-197	-289	**-9**

上期

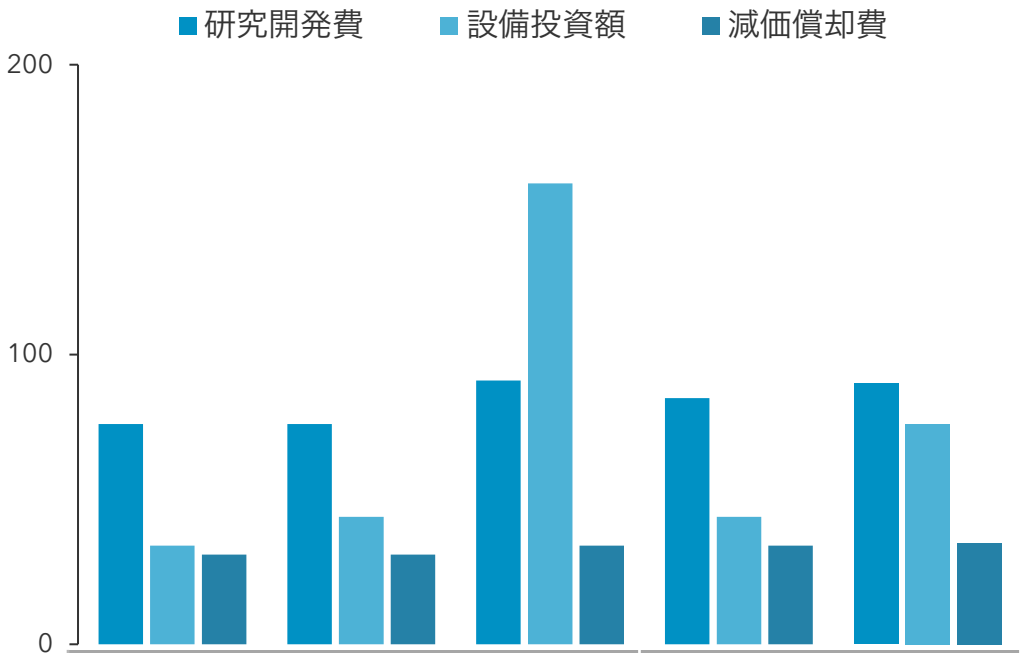


FY2025/03	FY2026/03
上期	**上期**
334	**308**
-145	**-122**
189	**185**
-147	**-299**

＊ FCF：フリーキャッシュ・フロー

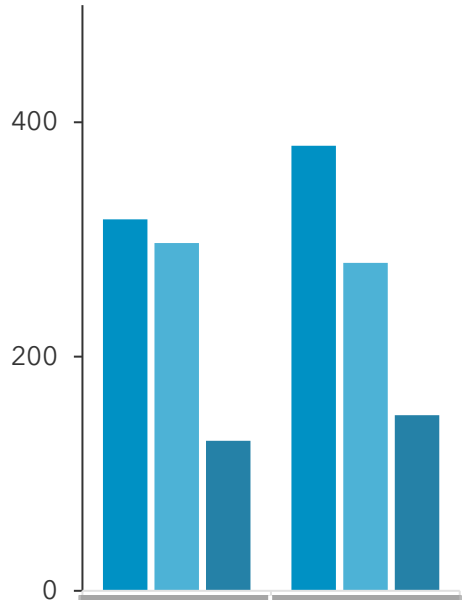
研究開発費・設備投資額・減価償却費

四半期 （億円）



（億円）	FY2025/03 2Q	FY2025/03 3Q	FY2025/03 4Q	FY2026/03 1Q	FY2026/03 **2Q**
研究開発費	76	76	91	85	**90**
設備投資額	34	44	159	44	**76**
減価償却費	31	31	34	34	**35**

通期 （億円）



	FY2025/03 通期	FY2026/03 **通期予想**
	317	**380**
	297	**280**
	128	**150**

研究開発費

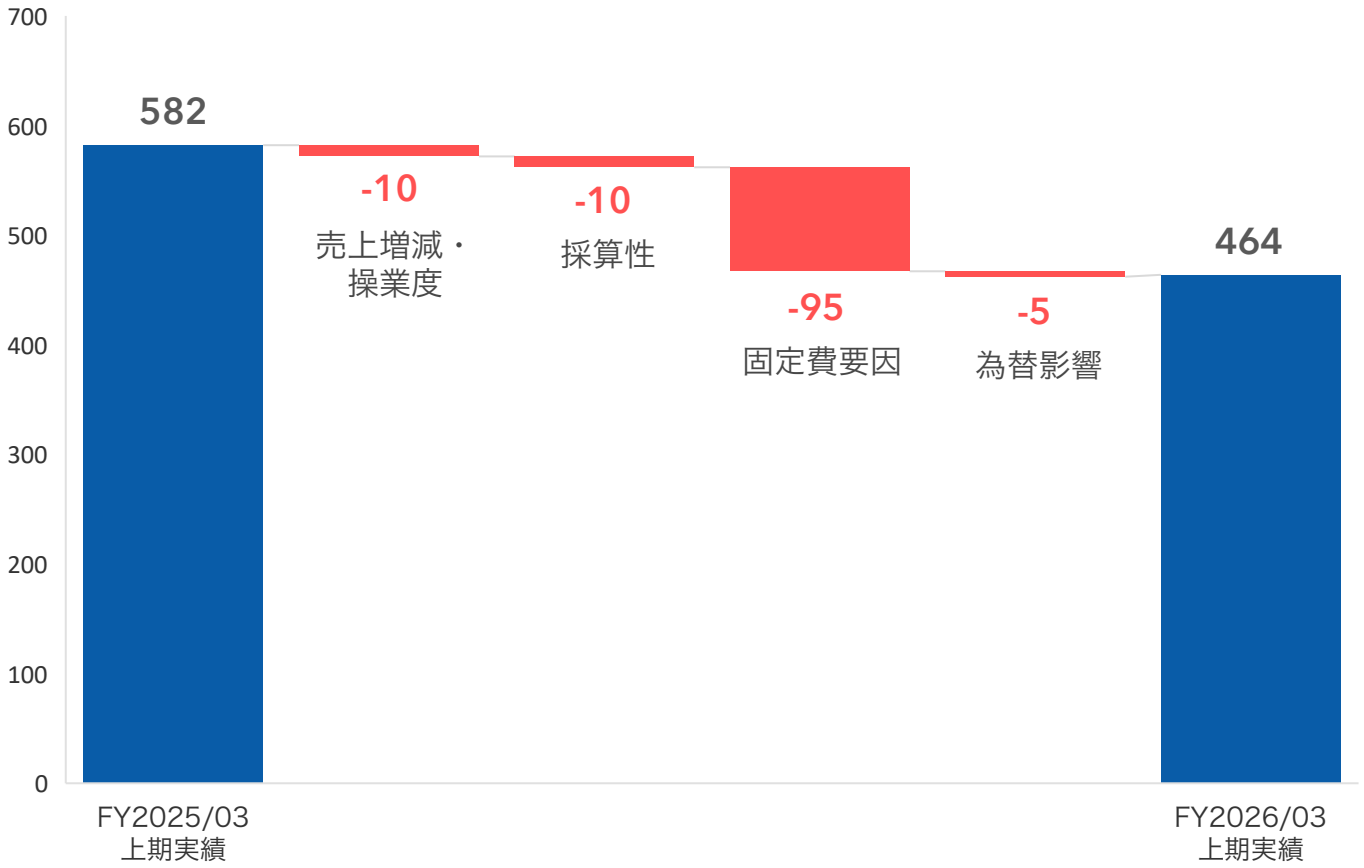
・SPE中心に研究費と人件費は概ね想定内で推移
・下期増加予定

設備投資額

・研究用、生産用、IT関連など想定内で推移

営業利益増減分析

FY2025/03 上期実績 vs FY2026/03 上期実績 （億円）



売上増減/操業度
FT、GAが貢献

採算性
主にGA

固定費
増加要因はSPEを中心とした成長投資
（研究開発費、人件費、減価償却費、など）

為替影響
主にGAが要因

注）利益要因は、5億円刻みの「約」表記

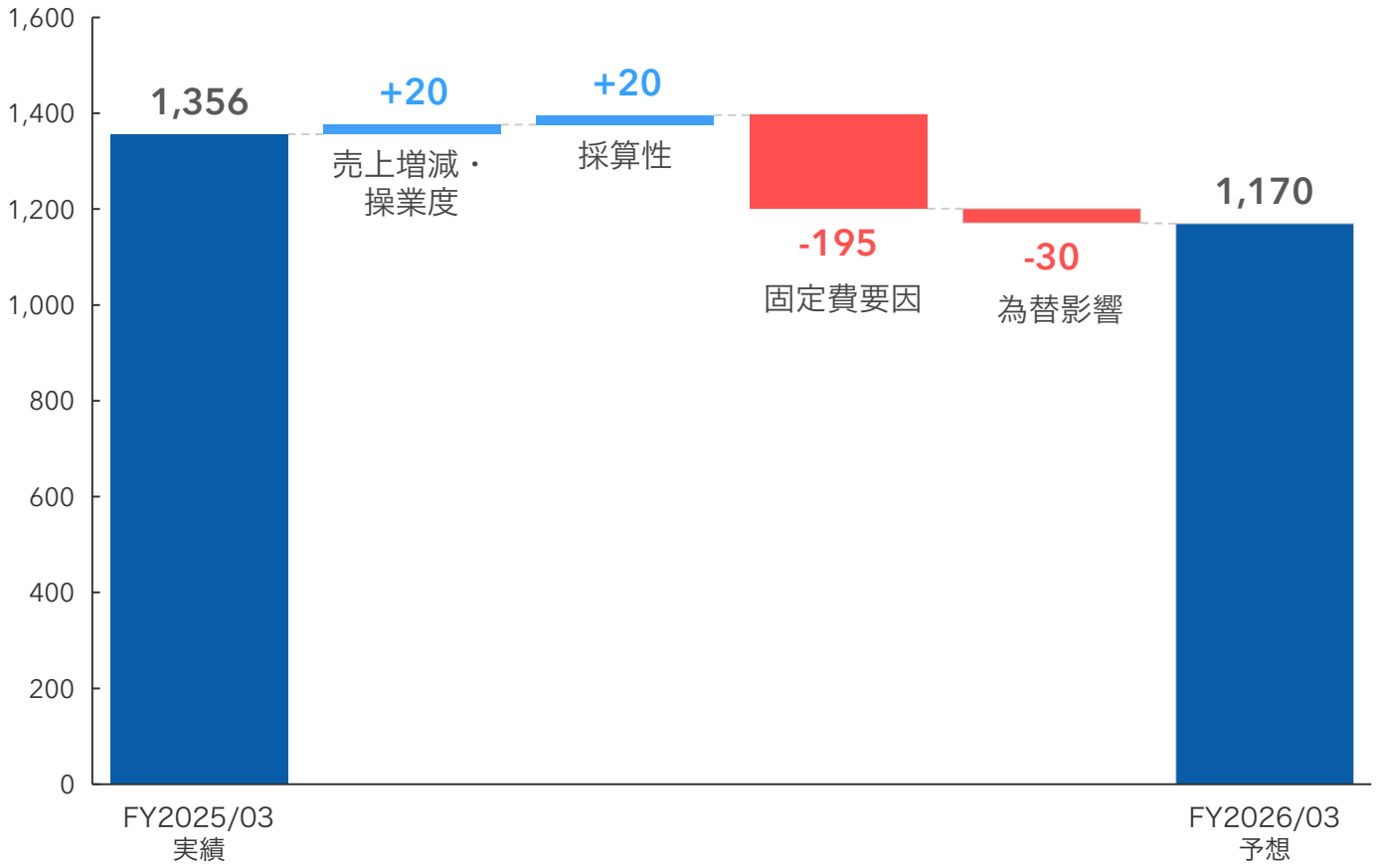
FY2026/03 業績予想 (2025年10月31日時点)

(億円)		FY2025/03	FY2026/03					
		通期実績	上期		下期		通期	
			7月発表予想	10月発表実績	7月発表予想	10月発表予想	7月発表予想	10月発表予想
売上高		6,252	2,995	**2,742**	3,215	**3,468**	6,210	**6,210**
営業利益		1,356	545	**464**	625	**706**	1,170	**1,170**
営業利益率		21.7%	18.2%	**16.9%**	19.4%	**20.4%**	18.8%	**18.8%**
経常利益		1,382	545	**468**	625	**702**	1,170	**1,170**
親会社株主に帰属する当期純利益		994	385	**318**	495	**562**	880	**880**
SPE	売上	5,195	2,405	**2,185**	2,615	**2,835**	5,020	**5,020**
	営業利益	1,369	575	**486**	635	**724**	1,210	**1,210**
	営業利益率	26.4%	23.9%	**22.3%**	24.3%	**25.5%**	24.1%	**24.1%**
GA	売上	530	250	**258**	280	**272**	530	**530**
	営業利益	42	10	**12**	15	**13**	25	**25**
	営業利益率	8.1%	4.0%	**4.7%**	5.4%	**4.8%**	4.7%	**4.7%**
FT	売上	358	255	**235**	200	**225**	455	**460**
	営業利益	30	30	**39**	20	**41**	50	**80**
	営業利益率	8.5%	11.8%	**16.9%**	10.0%	**18.2%**	11.0%	**17.4%**
PE	売上	141	70	**55**	80	**95**	150	**150**
	営業利益	10	5	**-2**	5	**12**	10	**10**
	営業利益率	7.5%	7.1%	**-4.1%**	6.3%	**12.6%**	6.7%	**6.7%**
その他および調整	売上	27	15	**7**	40	**43**	55	**50**
	営業利益	-97	-75	**-71**	-50	**-84**	-125	**-155**

注）FY2026/03（通期）想定為替レート>> 1USD＝￥140 、1EUR＝￥155　　想定為替感応度（通期営業利益ベース）>> 対USD：￥0.9億、対EUR：￥0.6億　　通期予想金額は5億円刻みの「約」表記

営業利益増減分析

FY2025/03 実績 vs FY2026/03 予想 （億円）



注）利益要因は、5億円刻みの「約」表記

売上増減/操業度
FT、GA、PEが貢献

採算性
FT、SPEが貢献

固定費
増加要因はSPEを中心とした
成長投資
（研究開発費、人件費、減価償却費など）

為替影響
・2025年3月期
1USD＝152.78円、1EUR＝163.05円
・2026年3月期計画レート（見直し）
1USD＝140円、1EUR＝155円

配当について

	2025年3月期　実績	2026年3月期	
		7月発表	10月発表
1株当たり 中間配当	120円	123円	**123円**
1株当たり 期末配当予想	188円	157円	**157円**
合計	308円	280円	**280円**

注）新中期経営計画「Value Up Further 2026」では連結配当性向30%以上を株主還元方針として設定

事業環境および業績予想詳細

2026年3月期 第2四半期 決算説明会

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 取締役社長（CEO）　後藤 正人

2025年10月31日

FY2026/03 通期業績予想　概要

SPE：
AI関連設備投資を着実に取りこみ、先端ノードファウンドリーや、HBMを中心としたメモリー向け売上が堅調に推移

FT：
OLEDやLCD向けなど活発なディスプレー投資を背景に売上・利益が好調

アドバンスドパッケージ領域：
パネルレベル向け(パネルコータ、直描露光機）、ウエハーレベル向け（洗浄）売上やプロジェクトは予定どおり進捗

成長投資を着実に実行：
アドバンスドパッケージ領域での事業拡大に向け戦略投資を実施
次期中計での更なる成長への布石とする

SPE 事業概況

市場動向および見通し

- **WFE：CY2025は1桁%前半の成長を想定（約$110B～）**

  → CY2026もAI向けを中心に先端ファンドリー、メモリーが牽引しプラス成長を見込む

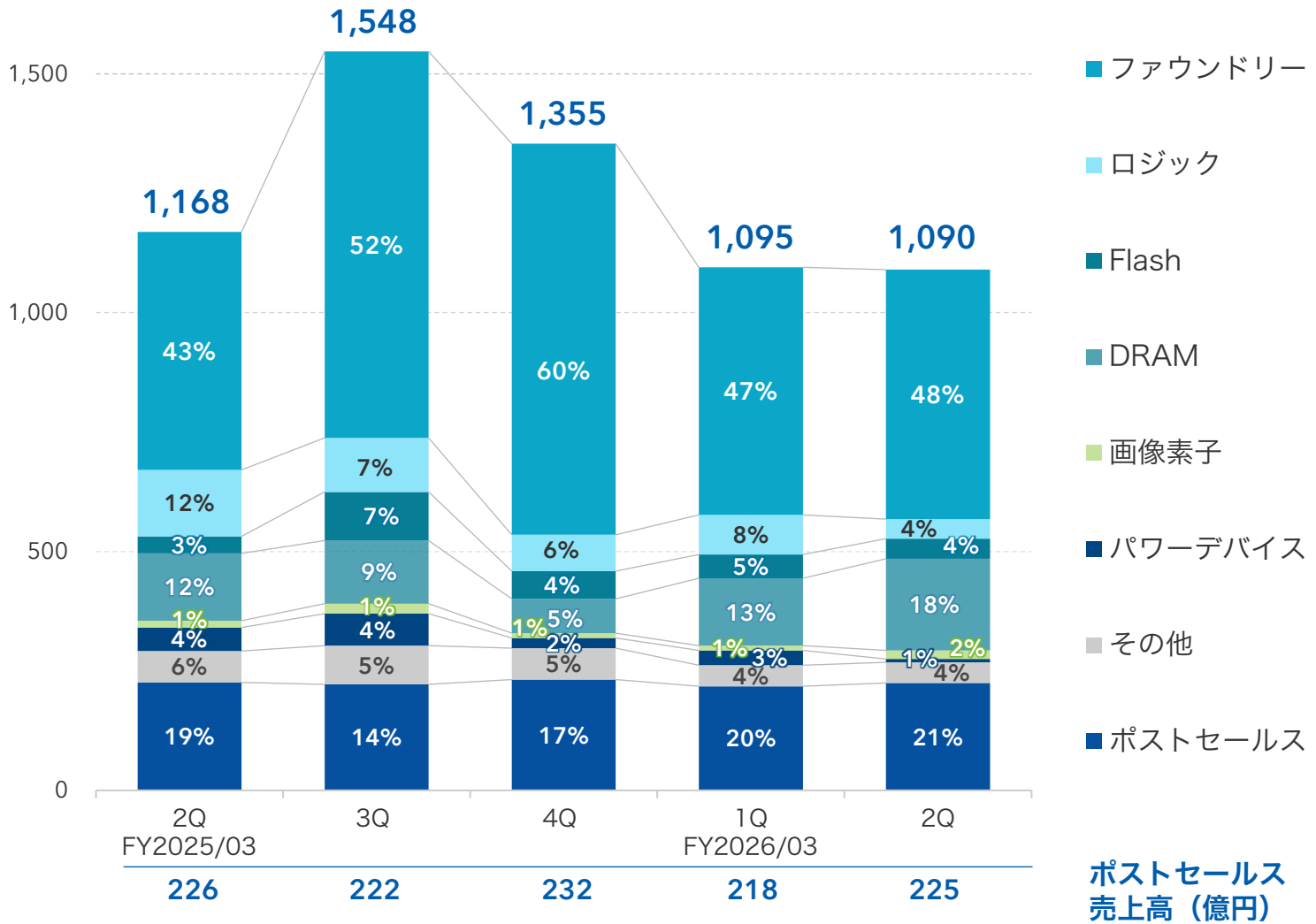
- **アプリケーション別投資動向**

ファウンドリー	AI向けが大きく投資を牽引。台湾だけでなく今後は北米も最先端デバイス生産拠点へ
ロジック	設備投資には慎重なスタンス
メモリー	DRAMはOpen AIなど新たな需要で堅調な投資継続を見込む。NANDは層数増投資メイン
画像素子	投資規模・タイミングを慎重に検討
パワーデバイス・その他	産業、車載向け需要は中国含め弱含み。回復は2026年以降と予想
アドバンスドパッケージ	後工程の高度化にともなう、さらなる設備増強に期待

- **中国市場：既存ファウンドリーの投資は堅調。新興チップメーカーは徐々にデバイス評価フェーズへ**

SPE 新規装置アプリケーション別、ポストセールス売上推移

四半期（億円）



ポストセールス
売上高（億円）

注） 比率は小数点以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

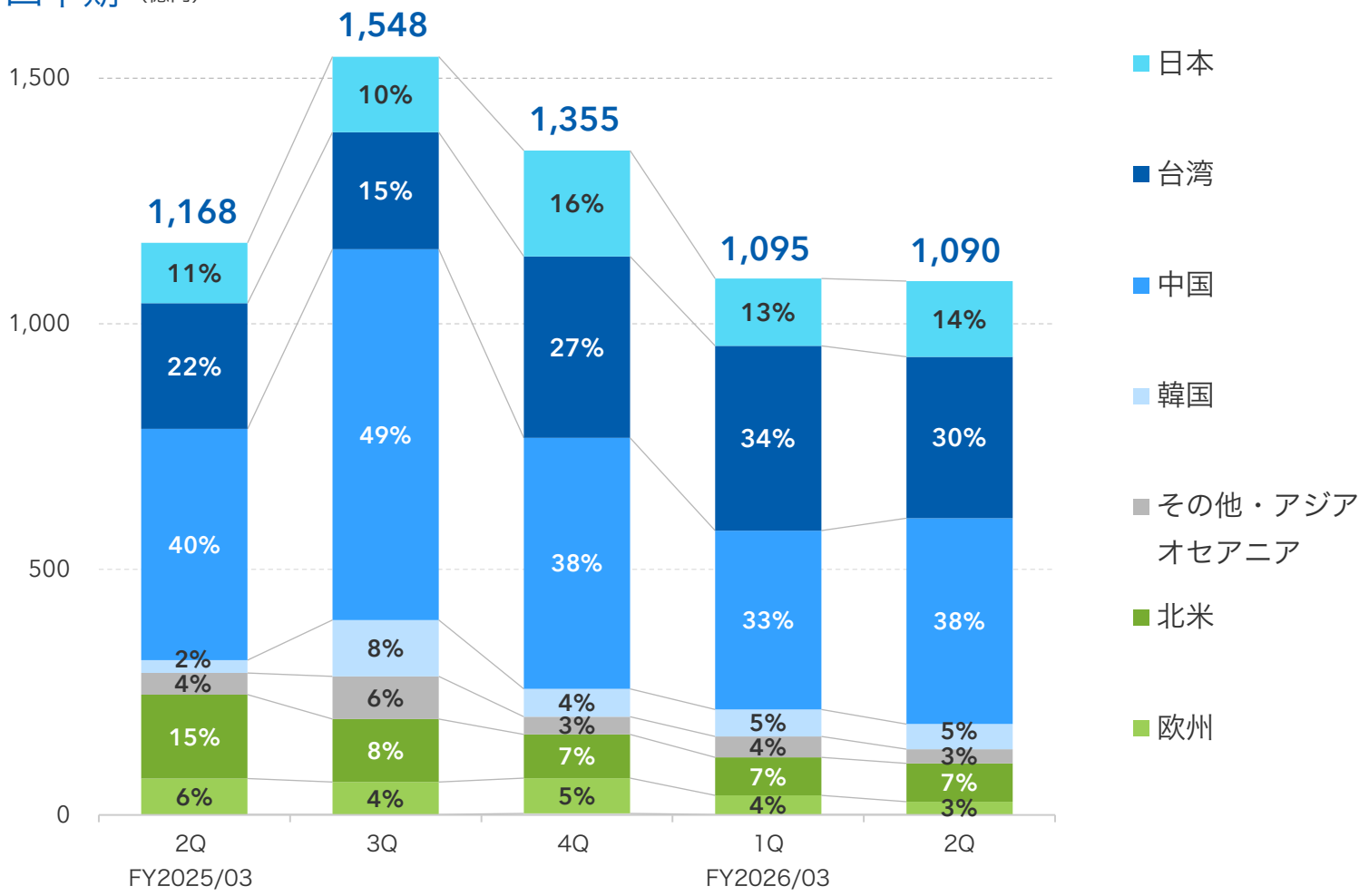
QoQ
DRAM増加

YoY
DRAM、ファウンドリー増加

ポストセールス
安定推移

SPE 売上高比率　地域別　仕向地ベース

四半期 （億円）



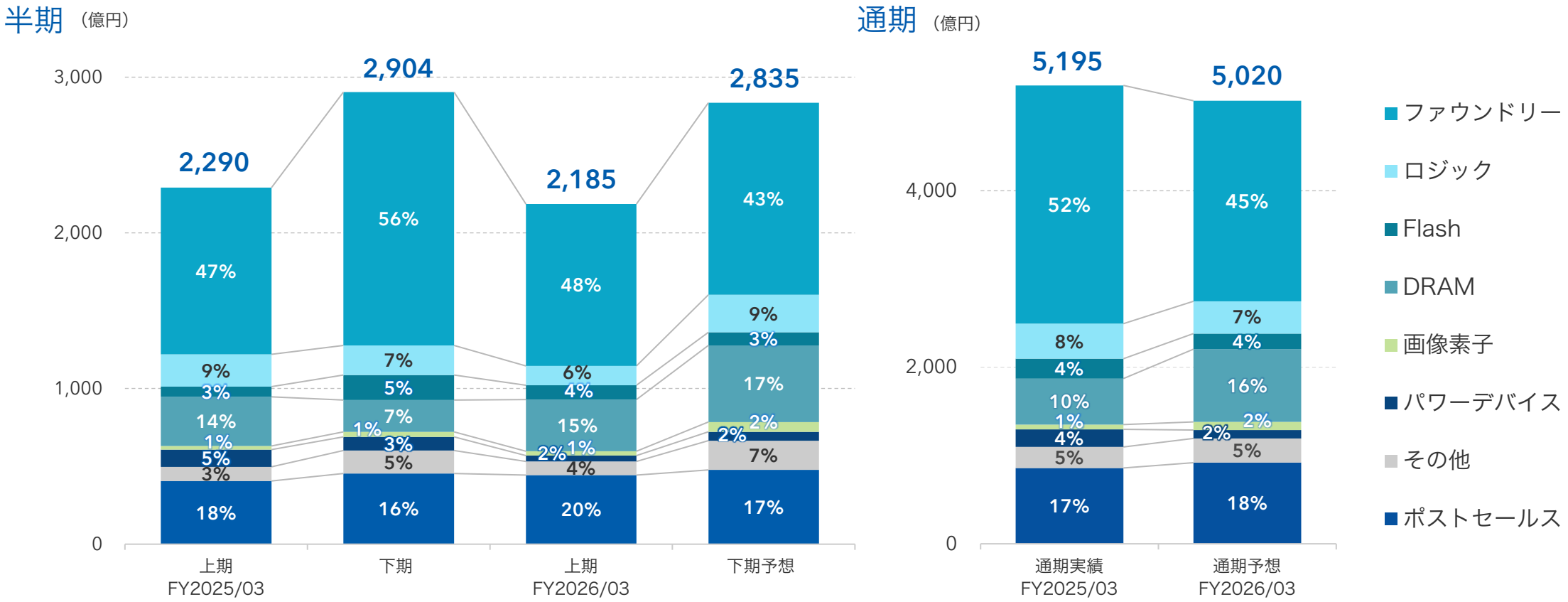
QoQ
中国、日本向け増加

YoY
台湾、日本向け増加

注） 比率は小数点以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

SPE 売上高比率予想　新規装置アプリケーション別、およびポストセールス

- 上期（YoY）：DRAM、Flashで微増
- 下期予想（対上期）：DRAM、ロジック、その他が増加見込み
- 通期予想（YoY)：DRAM増加見込み

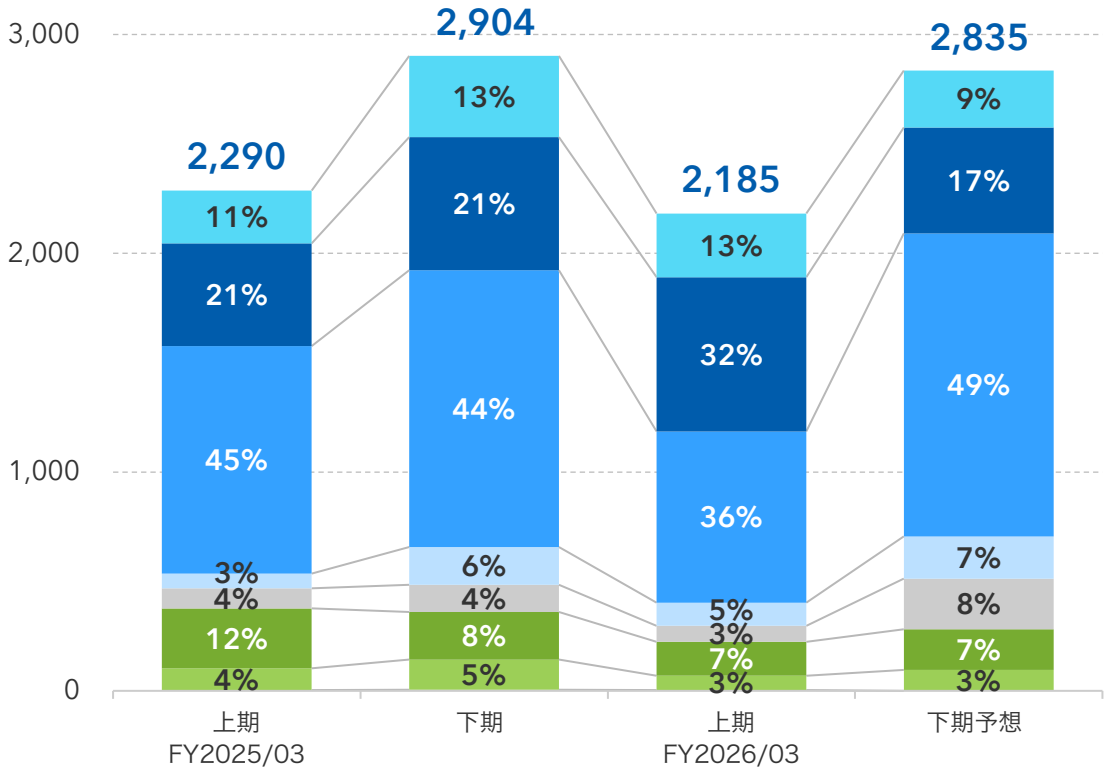


注） 比率は小数点以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

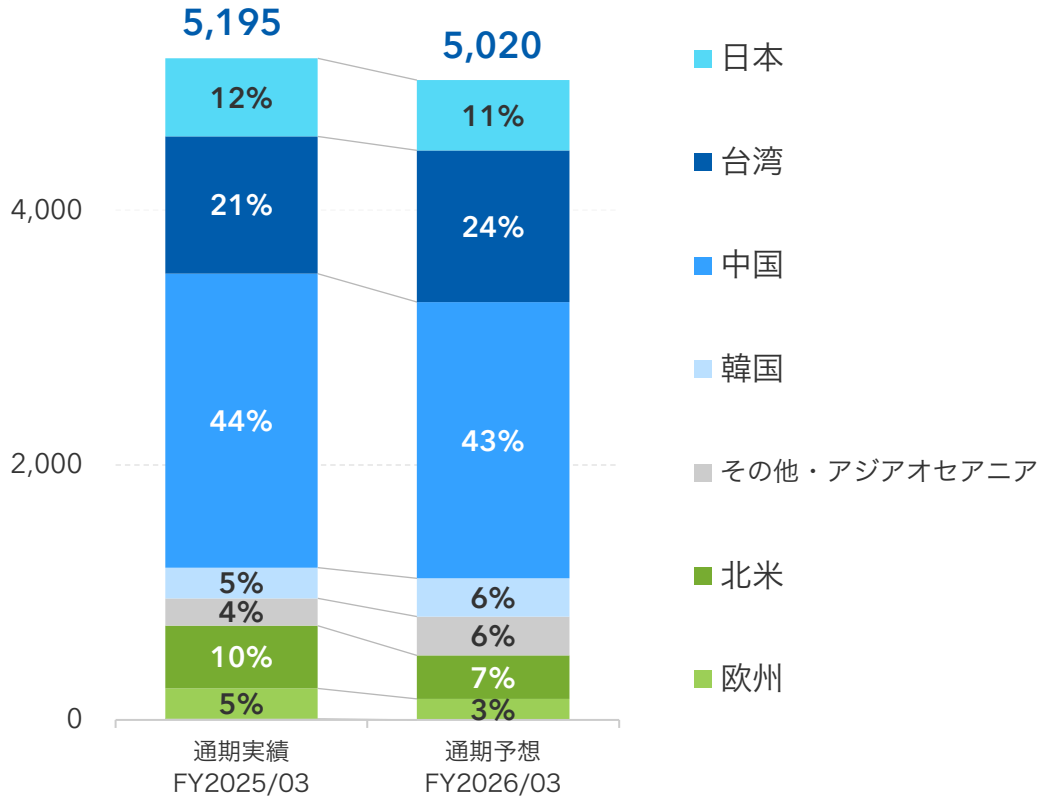
SPE 売上高比率予想　地域別　仕向地ベース

- 上期（YoY）：台湾大きく増加
- 上期実績 vs 下期予想：中国で増加見込み
- 前期通期実績 vs 今期通期予想：台湾増加

半期（億円）



通期（億円）

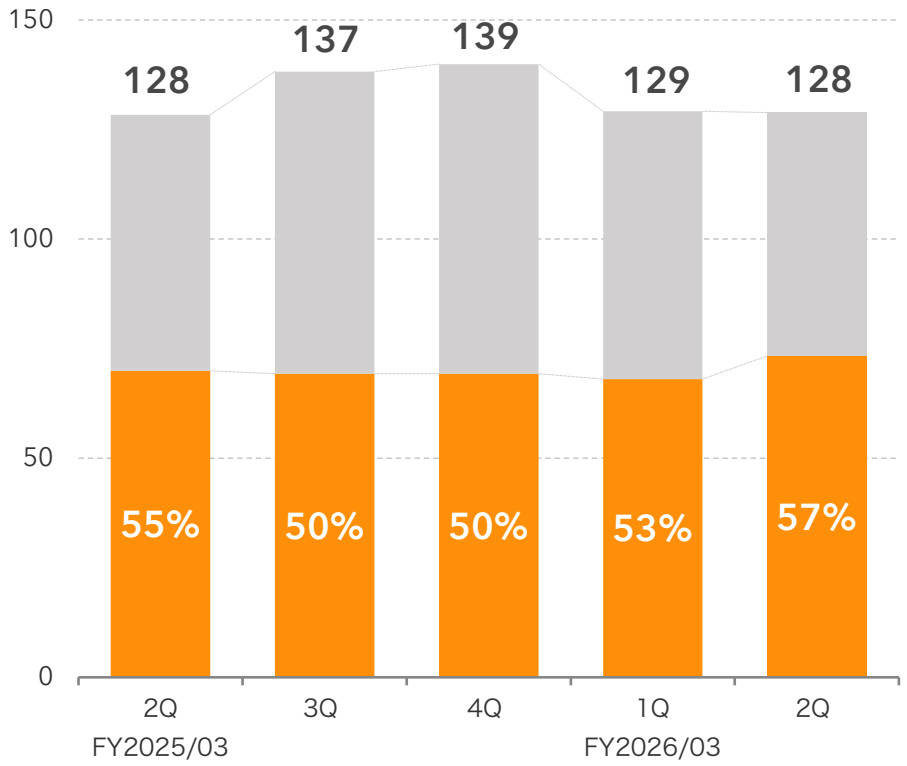


注）比率は小数点以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

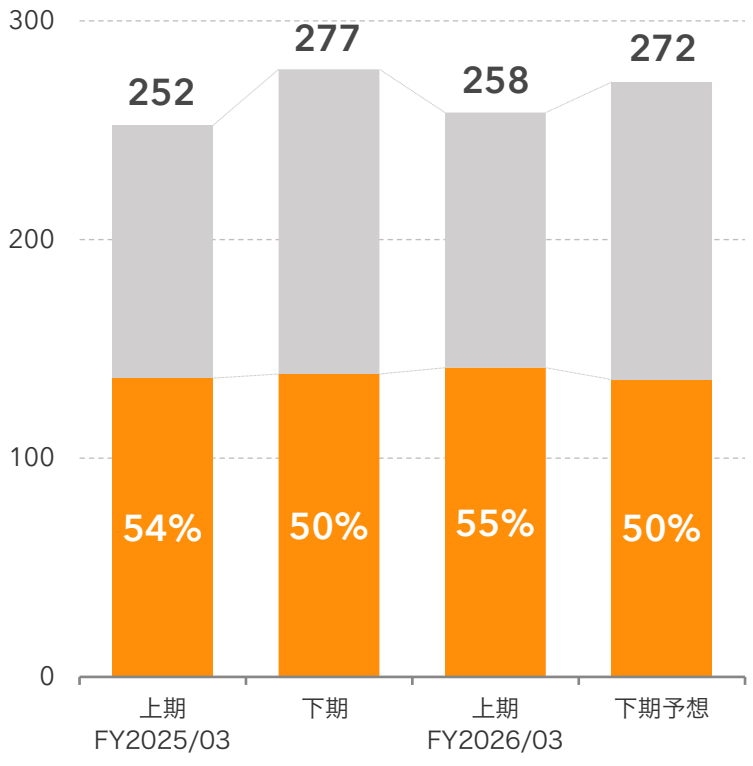
GA 売上高推移

› リカーリングビジネスは堅調
› 米関税政策の影響を受けるも、効率化や価格転嫁などで収益性向上を目指す

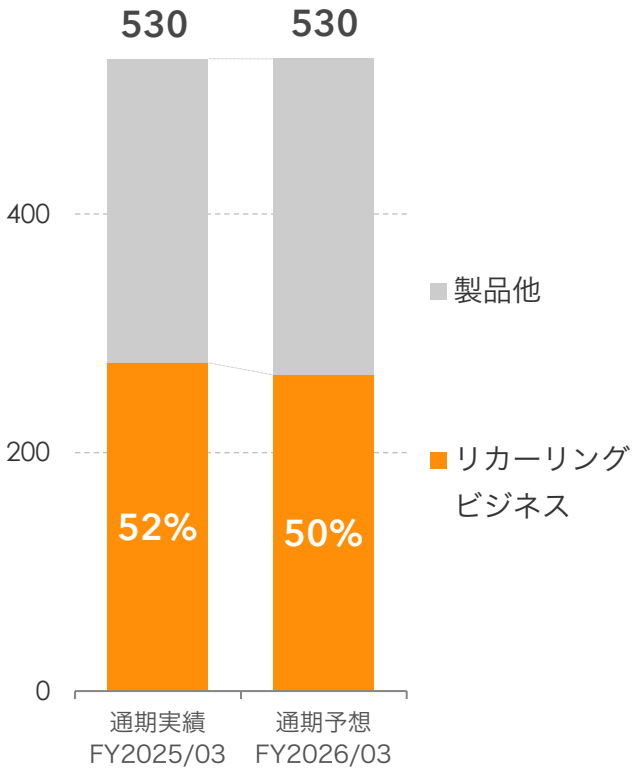
四半期 （億円）



半期 （億円）



通期 （億円）

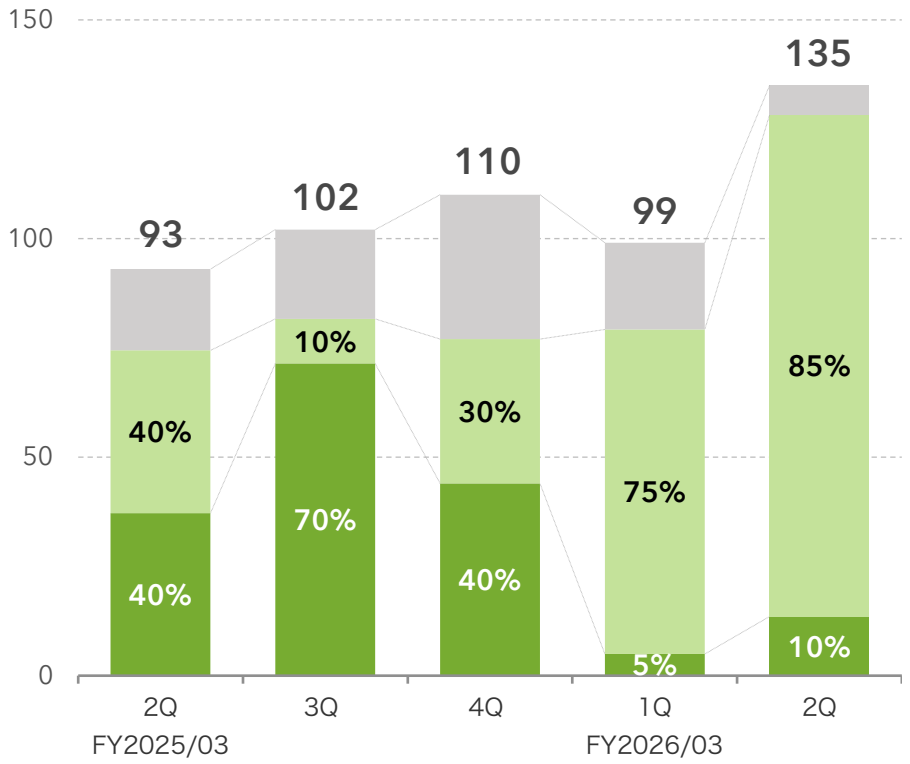


注） 予想比率は、5%刻みの「約」表記

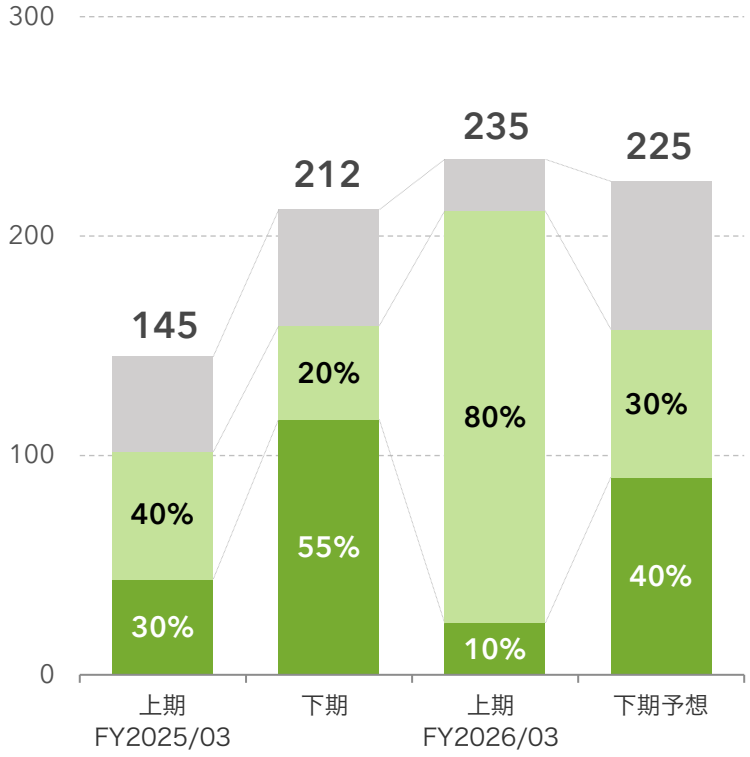
FT 売上高推移

› OLEDを中心としたディスプレー市場の活況に伴い売上増
› 下期も好調継続

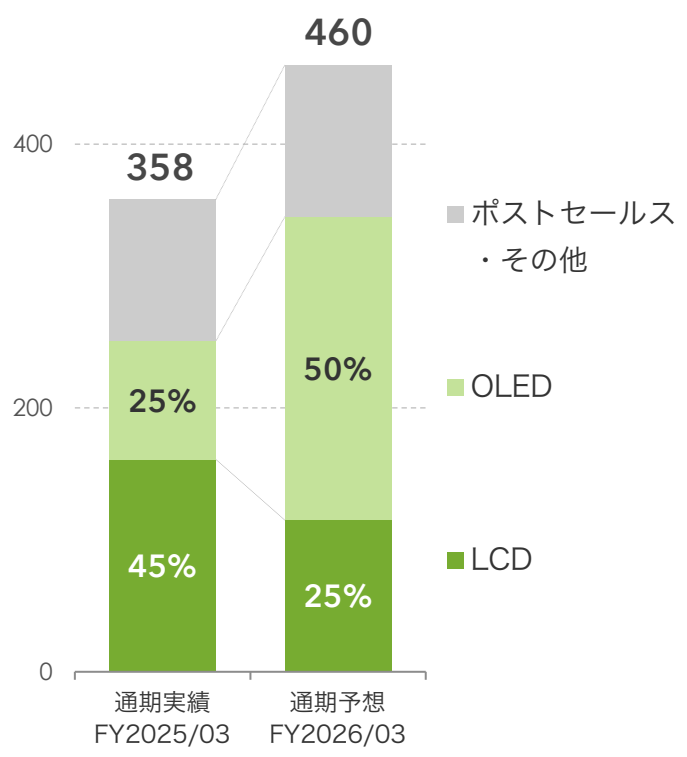
四半期 （億円）



半期 （億円）



通期 （億円）

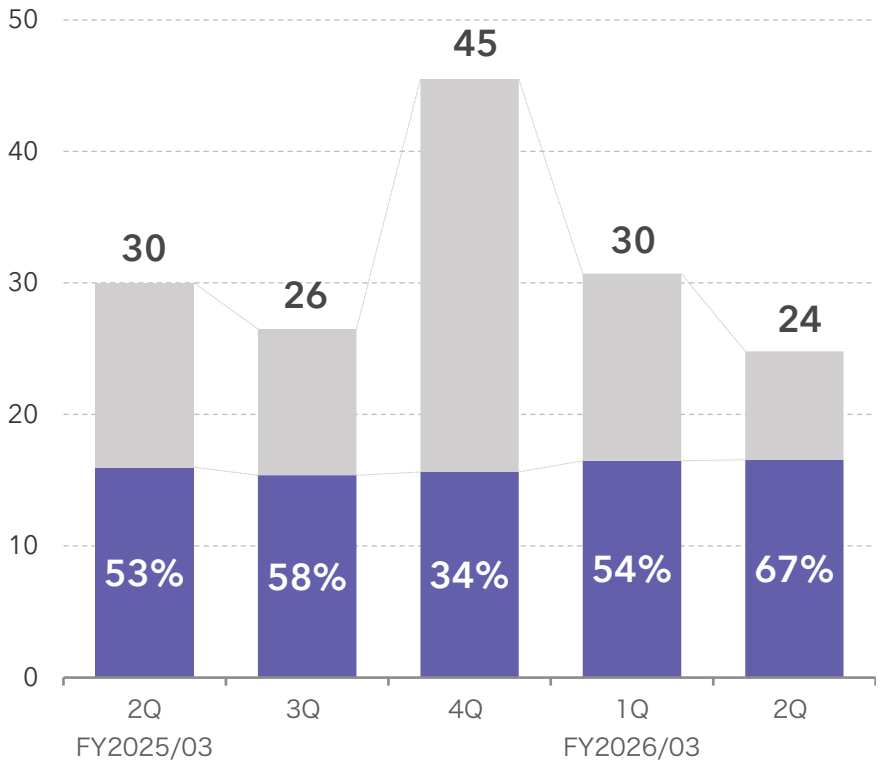


注） 比率は、5%刻みの「約」表記。

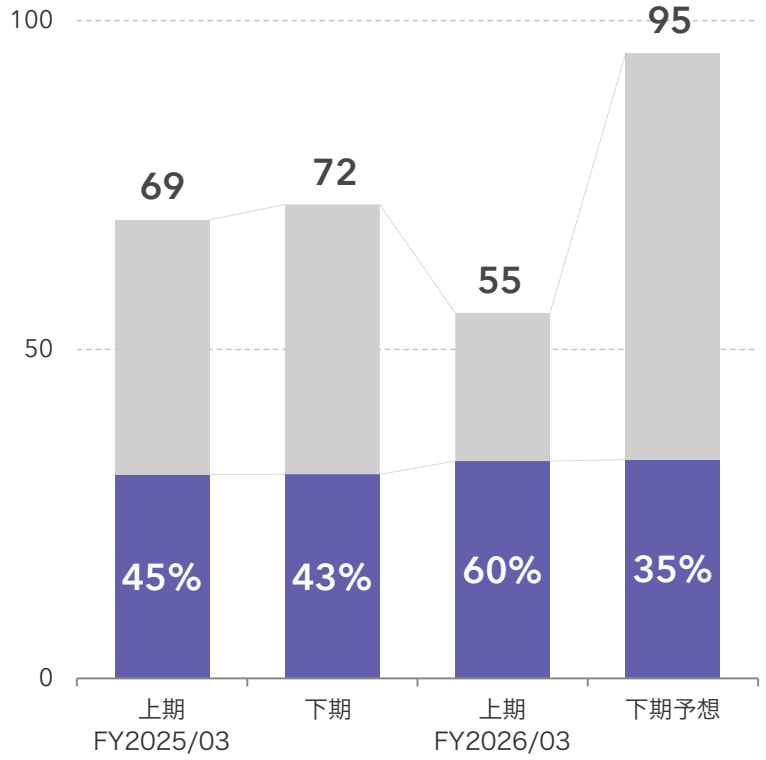
PE 連結売上高推移

› 市場環境は依然厳しいが、来期に向けては市場回復の兆し
› ポストセールスは引き続き堅調

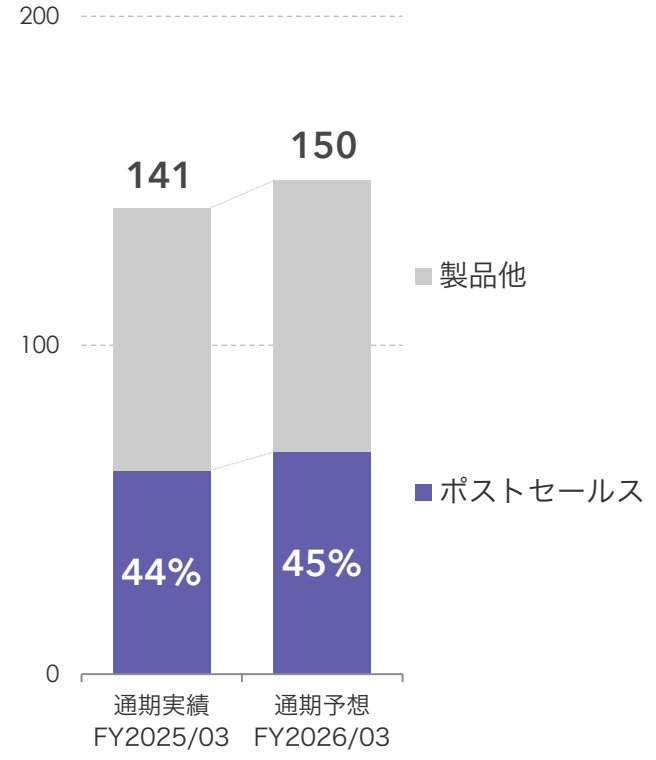
四半期 （億円）



半期 （億円）



通期 （億円）



注） 予想比率は、5%刻みの「約」表記

ESG関連の取り組み

S（社会）

- パートナーシップ構築宣言の更新

  中小企業庁の方針の変更に伴い、これまでHDがグループ全体で宣言していたパートナーシップ構築宣言を
  HDおよび事業会社（SPE、GA、FT、PE）ごとの宣言に更新

G（ガバナンス）

- BCP大規模演習の実施

  南海トラフ巨大地震における、『発災直後の初動対応』や『発災後一定期間経過時の復旧対応の演習』など、
  災害対応大規模演習を実施（対面およびオンラインで、総計約260名が参加）

最近のグループニュース（公式サイトより抜粋：2025年7月26日～2025年10月31日）

詳細はこちら （公式WEBページへ）

HD

- SCREENと大阪大学大学院工学研究科、半導体分野で「公募型共創研究制度」を開始
  ～SCREEN未来協働研究所、若手研究者との共創を目指す新制度を創設～ (2025.9.26)
- SCREENホールディングス　2025年度「ポーター賞」を受賞 (2025.10.8)
- 株式会社ニコンのウエハー接合技術に関する研究開発事業を譲受 (2025.10.31)

SPE

- 米国・IBM社と、次世代EUVリソグラフィ向け洗浄プロセス開発に関する追加契約を締結 (2025.9.24)

GA

- ～京都市立芸術大学×月桂冠×SCREENによる 産学連携プロジェクト～
  学生がデザインしたオリジナルラベルの日本酒を商品化 京都駅ビル芸術祭で数量限定販売 (2025.10.2)
- 東京・門前仲町事業所に「インクジェットイノベーションセンター東京」を開設 (2025.10.6)

Topics

株式会社ニコンのウエハー接合技術に関する研究開発事業を譲受 <2025年10月31日 発表>

- アドバンスドパッケージ分野を注力領域と位置付け、直接描画装置や塗布乾燥装置の販売に加えて、ウエハーの低温接合技術の開発および実装化を進める
- 当該事業譲受により、株式会社ニコンの超高精度接合技術やノウハウと当社の既存技術を融合し、世界最高水準の接合技術を目指すとともに、当該分野でのプレゼンス確立を図る

事業譲受の概要

（1）譲受事業の内容	株式会社ニコンのウエハー接合技術に関する研究開発事業
（2）譲渡会社	会社名：株式会社ニコン 所在地：東京都品川区西大井1-5-20 代表者：代表取締役 兼 会長執行役員 馬立 稔和 資本金：654億7,600万円（2025年3月期） 設立年月日：1917年7月25日
（3）契約締結日	2025年8月14日
（4）事業譲受日	2025年9月30日

（注）本譲受に伴う影響は計画に織り込み済みであり、当期の業績予想に変更はありません

› 半導体パッケージ市場のさまざまなニーズに応え、同分野の発展に貢献する

Topics

米国・IBM社と、次世代EUVリソグラフィ向け洗浄プロセス開発に関する追加契約を締結

＜2025年9月24日 発表＞

- 2nm世代以降の微細プロセスに不可欠な技術として注目されているHigh NA（高開口数）EUV。最先端のEUV露光技術においては、従来よりもウエハー上の微小な異物や傷が露光に悪影響を生じさせるため、これまで以上に洗浄工程が重要に

- IBM社との共同開発における「High NA EUV関連の洗浄技術開発」についての追加契約締結により、先端半導体製造における洗浄工程の課題を迅速に発見し、当社の洗浄プロセス技術および装置の開発へのフィードバックを目指す

（注） 本契約は、2022年11月15日付で発表した次世代洗浄プロセスの共同開発契約の範囲を拡大するもの（詳細はこちら）



締結式の様子

左：
IBM 半導体部門 ゼネラルマネージャー（GM）兼 ハイブリッド・クラウドリサーチ バイスプレジデント（VP）
Mukesh Khare 博士

右：SPE 代表取締役 社長執行役員 岡本 昭彦

› EUV露光を用いた最先端の洗浄技術の開発をますます加速、お客さまの付加価値を最大化するソリューションを提供する

Topics

SCREENホールディングス　2025年度「ポーター賞」を受賞 <2025年10月8日 発表>

- ポーター賞（主催：一橋ビジネススクール 国際企業戦略専攻。2001年 創設）
  製品、プロセス、経営手腕においてイノベーションを起こし、それを土台に独自性がある戦略を実行し、高収益性を達成・維持している日本企業や事業を表彰



- 受賞理由
  直接販売、直接サービスによって顧客ニーズを満たし続け、長期的な信頼関係を構築している点などが評価された

  >> 受賞理由に挙げられた内容
  ・半導体洗浄装置で、1999年から世界シェア1位を維持
  ・最適かつ効率的なサービスの提供を通じて顧客要望に応える

› お客さまの幅広いニーズに対応し、エレクトロニクス業界へのさらなる発展に貢献しながら、企業価値向上を目指す

Topics

SCREENと大阪大学大学院工学研究科、半導体分野で「公募型共創研究制度」を開始

＜2025年9月26日 発表＞

- 大阪大学吹田キャンパス内に設置された産学連携拠点「SCREEN未来協働研究所」が運営
- 学問領域を問わず半導体関連研究として要件を満たすテーマを、大阪大学大学院工学研究科に所属する若手研究者から募集。
  特に優れた研究成果は、SCREEN・大阪大学大学院工学研究科での共同研究への展開を検討

制度の概要

公募名	大阪大学 大学院工学研究科 「輝け、未来。」SCREEN ホールディングス 公募型共創研究制度
応募対象	大阪大学 大学院工学研究科に所属する准教授・助教・講師
募集テーマ	広義の半導体に関する研究
採択件数	年間5件程度
研究費	1件あたり200万円
研究期間	2026年4月1日～2027年3月31日（1年間）

› 産学連携による技術革新の創出と、次世代を担う高度専門人財の育成・支援を推進を通じて、当社グループの持続的な成長を目指す

Topics

東京・門前仲町事業所に「インクジェットイノベーションセンター東京」を開設 <2025年10月6日 発表>

未来のオープンイノベーションの拠点として、2025年10月に施設をリニューアル

- 「ホワイトカンバス MON-NAKA」をリニューアルし、GAが開発・製造するデジタルインクジェット印刷機「Truepressシリーズ」の実機展示・デモンストレーションを行うショールームとして開設（京都、USA、オランダに続く4拠点目）

所在地
株式会社SCREEN GP ジャパン 本社内
（株式会社SCREENホールディングス 門前仲町事業所内）

〒135-0044　東京都江東区越中島一丁目1-1 ヤマタネ深川1号館1階



「インクジェットイノベーションセンター東京」のエントランス

› 今後も「自動化・省力化」「環境対応」「価値創造」の実現に向けて最新のソリューションを提供し、ビジネスの拡大を目指す

Topics

アニュアルレポート2025 発行 <2025年9月30日>

2025年6月に始動した新経営体制の下、中長期的な企業価値の向上を目指す当社グループの活動を、
長期ビジョンである経営大綱、そして、中期経営計画の初年度における進捗状況を中心に幅広くご紹介


人と技術をつなぎ、未来をひらく
CEOメッセージ

7 SCREEN Group Annual Report 2025

変革の時代に、確かな価値を

このたび、代表取締役社長 CEOに就任しました後藤正人です。私は、1990年に当社の前身である大日本スクリーン製造株式会社に入社して以来、一貫して半導体製造装置事業（以降、SPE事業）に携わり、主に製造・フィールドサポート・技術部門を担当してきました。2019年にSPE事業の社長に就任した後、2024年にはホールディングスへ異動し、経営戦略本部長としてグループ全体の経営に携わってきました。

今やSCREENグループ全体の売上の8割を占めるSPE事業ですが、入社当時はとても規模の小さな部門だったことを鮮明に覚えています。グループを支える主力事業にまで成長したのは、「お客さまの課題を先んじて解決へ導く、一番を目指す」といった、従業員のアグレッシブさが大きく寄与していると考えています。こうした経験からも、従業員一人ひとりがモチベーションを高め、成長を実感できる企業グループとなるよう、これからも励んでまいります。成長戦略の一環として今年度は、当社グループのコア技術を再定義しました。これは創業以来、技術志向を誇りに事業を営んできた会社であることを、すべての従業員が再認識し、自分たちのコア技術や強みを問われた際に、自信を持って即答できるようになってほしいという考えによるものです。

CEOとして今後も、従業員がポテンシャルを最大限に発揮できる環境づくりに努め、ソリューションクリエーターとなって企業価値を高めていけるよう、経営の舵取りを行ってまいります。

「ものづくりは人づくり」をモットーに、さらなる高みへ

当社グループを取り巻く事業環境は、目まぐるしく変化しています。DXやGXの社会実装、生成AIの登場による半導体需要の劇的な増加など、こうした傾向は今後ますます色濃くなり、当社グループのビジネスの機会を広げていくでしょう。こういった時代の中で事を成すためには、コミュニケーションを通じて、一緒に働く人といかにうまく関係を築き、組織内外での

アニュアルレポートの
ダウンロードは[こちら]

Topics

2026年3月期 2Q決算後

当社主催 スモールグループミーティング開催のお知らせ

（機関投資家向け）

■ 日程：　【日本語】　2025年11月21日（金）　9：30 － 10：15

　　【英　語】　2025年11月19日（水）　17：00 － 17：45

■ オンライン（Teams）にて開催
詳細は近日中にメールにてご案内予定

■ スピーカー：
・執行役員 経営戦略本部 コーポレートコミュニケーション室長　乙部　千穂
・経営戦略本部 コーポレートコミュニケーション室 IR部長　三浦　雄一

2026年3月期 IR Day 開催のお知らせ

（機関投資家・証券アナリスト向け）

■日程（予定）：2025年12月16日 (火)　15：30 －（現地受付　15:00）

※終了後、立食懇親会を予定しています（約1時間）

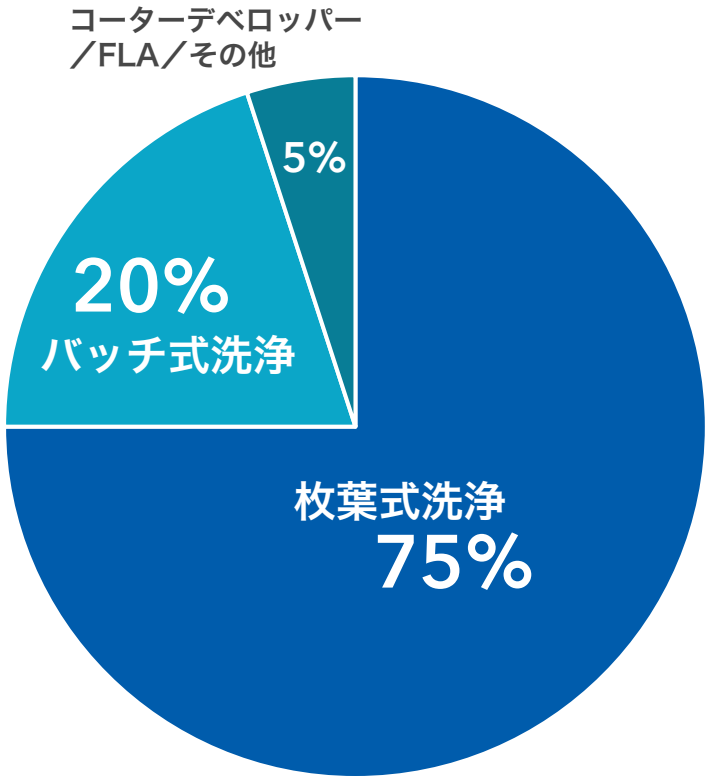
■場所（予定）：当社 門前仲町事業所（東京都江東区）／オンラインのハイブリッド

■内容（予定）：SCREENの成長戦略　～次期中期経営計画から10年後のありたい姿に向けて～　など

■登壇者　：代表取締役 取締役社長（CEO）後藤 正人　ほか

Appendix

製品別売上高比率 - FY2026/03 上期



(%)	FY2023/03	FY2024/03	FY2025/03	FY2026/03 上期
枚葉式洗浄	65	70	80	**75**
バッチ式洗浄	25	20	15	**20**
コーターデベロッパー／FLA／その他	10	10	5	**5**

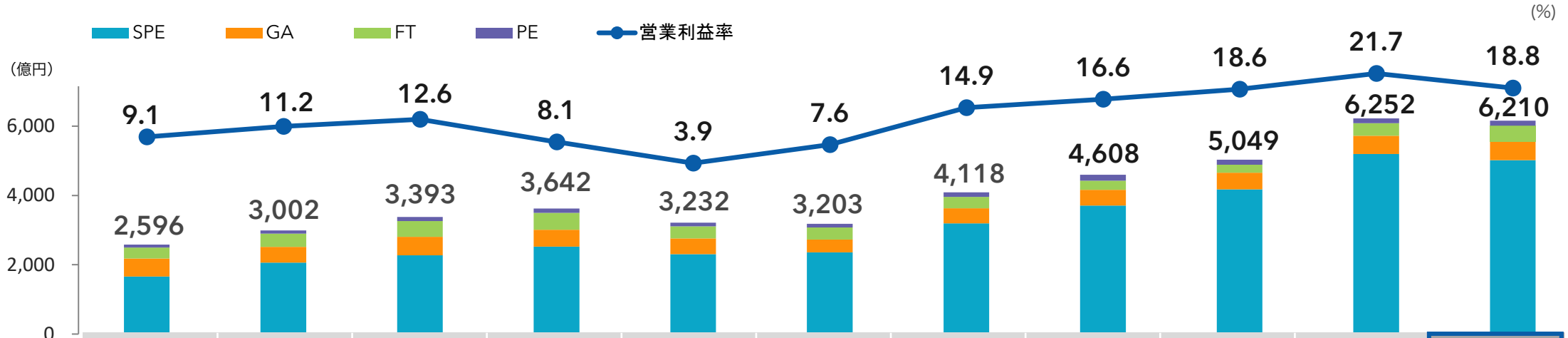
注）上記比率は、5%刻みの「約」表記

Appendix 主要数値の変遷

（億円）	FY2016/03	FY2017/03	FY2018/03	FY2019/03	FY2020/03	FY2021/03	FY2022/03	FY2023/03	FY2024/03	FY2025/03	FY2026/03（予想）
売上高	2,596	3,002	3,393	3,642	3,232	3,203	4,118	4,608	5,049	6,252	**6,210**
営業利益	235	337	427	296	125	244	612	764	941	1,356	**1,170**
営業利益率（%）	9.1	11.2	12.6	8.1	3.9	7.6	14.9	16.6	18.6	21.7	**18.8**
総資産	2,700	3,006	3,658	3,809	3,479	3,826	4,593	5,628	6,768	6,712	-
自己資本	1,196	1,428	1,708	1,791	1,739	2,083	2,477	2,998	3,718	4,206	-
自己資本比率（%）	44.3	47.5	46.7	47.0	50.0	54.5	53.9	53.3	54.9	62.7	-
ROE（%）	16.3	18.4	18.2	10.3	2.8	7.9	19.9	21.0	21.0	25.1	-
減価償却費	50	53	57	68	88	96	95	87	108	128	**150**
設備投資額	63	82	144	240	79	78	134	290	398	297	**280**
研究開発費	151	177	208	228	215	215	240	247	270	317	**380**
EPS（円）	198.38	255.98	304.31	193.55	53.69	162.61	488.28	608.16	742.10	1,023.54	**930.91**
配当金（円）	30.0	43.5	55.0	48.5	15.0	45.0	146.5	182.5	223.5	308.0	**280.0**

注）2016年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を、さらに2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施

Appendix セグメント別業績推移



	(億円)	FY2016/03	FY2017/03	FY2018/03	FY2019/03	FY2020/03	FY2021/03	FY2022/03	FY2023/03	FY2024/03	FY2025/03	FY2026/03 (予想)
SPE	売上高	1,658	2,060	2,271	2,525	2,305	2,355	3,193	3,709	4,176	5,195	**5,020**
	営業利益	187	293	363	258	161	259	628	769	970	1,369	**1,210**
	営業利益率	11.3%	14.2%	16.0%	10.2%	7.0%	11.0%	19.7%	20.7%	23.2%	26.4%	**24.1%**
GA	売上高	523	458	534	482	455	374	433	456	477	530	**530**
	営業利益	31	14	30	11	14	5	16	33	42	42	**25**
	営業利益率	5.2%	3.2%	5.7%	2.4%	3.2%	1.4%	3.8%	7.4%	9.0%	8.1%	**4.7%**
FT	売上高	315	381	452	492	351	347	332	261	232	358	**460**
	営業利益	27	43	45	37	-25	4	5	-18	-4	30	**80**
	営業利益率	8.7%	11.5%	10.2%	7.7%	-7.3%	1.3%	1.8%	-7.0%	-1.8%	8.5%	**17.4%**
PE	売上高	89	89	121	123	100	104	133	168	146	141	**150**
	営業利益	-	7	10	7	-2	7	20	33	18	10	**10**
	営業利益率	- %	8.4%	8.3%	6.2%	-2.6%	7.4%	15.6%	19.9%	12.7%	7.5%	**6.7%**

注1） FY2016/03以前の営業利益･営業利益率は、従来のグラフィックアンドプレシジョンソリューション事業（プリント基板関連機器事業を含む）をグラフィックアーツ機器事業に表示しております
注2）予想金額は5億円刻みの「約」表記